



EQUIOS

User Report : サンメッセ株式会社

EQUIOS 導入後、わずか2週間で、RIP 処理全体の50%を移行

岐阜県・大垣市に本社を置くサンメッセ株式会社は、3つの製造拠点と5支店、4営業所を配備して積極的な提案営業を推進し、顧客に最適なソリューションを提供してきた。EQUIOSの導入に際しては、Trueflowや他社RIPに精通したオペレーターが立ち上げの中心メンバーとなり、また視覚的要素をふんだんに取り入れたマニュアルを作成するなど、独自の工夫により短期間で実稼働に入った。



取締役常務執行役員
製造本部長 伊東 寛 氏



本社副工場長(プリプレス担当)
酒井 康幸 氏



プリプレス一課 課長代理
木村 彰孝 氏



プリプレス一課
田中 香寿美 氏

まずはミス撲滅、生産の効率アップを

サンメッセ株式会社は、もともと映画館を経営しており、映画産業が斜陽化する前に副業的に印刷会社を始め、総合印刷会社に成長したという異色の経歴を持つ。今では一般商業印刷・出版印刷を中心に、パッケージ印刷、フォーム印刷などを、企画・デザインから製本・加工まで一貫生産できる体制を整えている。

納期短縮と生産性の向上を図るため、早くからCTP化を進め、またTrueflowを導入してワークフローの変革を進めてきた。しかしDTP(データ処理)とCTP(刷版設計)は分業しており、工程や作業に従事するスタッフが異なることを原因とする伝達ミスが頻発し、それが事故につながるなどの弊害が出てきた。

取締役常務執行役員の伊東寛製造本部長に、EQUIOS導入前の状況と課題をお話いただいた。

「ワークフローが変わっても、分業してい

る限りは抜本的な問題解決にはつながりませんので、人材配置の最適化と生産効率の向上が不可欠でした。それに加えて、当社は菊四半裁印刷機4台を含め、全部で50台ほど印刷機を使っていたのですが、菊四半裁機で行っていたジョブをPODに置き換えたいという思いもありました」

それらを満たすために、新たなワークフローの構築を検討することになった。

副工場長の酒井康幸氏は「カレンダーの店名差し替えやページ物など、テンプレートが固定しているものは上流で版面設計を行いたいと思っていました。EQUIOS-Pre4mで試験運用してみると順調に進んだため、EQUIOSを導入することにしました」と話す。CTPとPODなどのデバイス変更に柔軟に対応でき、サイズの異なるジョブを自動で、最適に面付けできるオートギャング運用ができることも評価ポイントの一つだった。

EQUIOSの導入は2013年3月。それから2週間後にはRIP処理全体の約半分をEQUIOSで処理できるまでになった。

3段階に分けてEQUIOSに完全移行

短期間で作業効率、生産性を大幅アップさせた裏には、同社ならではの工夫があった。プリプレス一課の木村彰孝氏に紹介していただいた。

「新しいRIPになると、Trueflowや他社のRIPに精通している特定のオペレーターが効率的な操作方法を理解しても、それを他のメンバーに広めていくのは難しい。ですからわれわれは、新たにEQUIOSを担当することになったオペレーターには、まずTrueflowベースでEQUIOSを使い、操作方法に慣れてもらうところからスタートしました。そして第2段階としてEQUIOSで新しく追加された機能を使い、第3段階でPODや版面設計の機能を使えるような状態にもっていき

ました」
特筆すべきは、先行してEQUIOSの機能を使いこなすようになったオペレーターが、他のメンバーに理解しやすいよう、自

社に最適なマニュアルを作成したことである。視覚的に分かりやすいマニュアルを全員で共有することにより、TrueflowからEQUIOSへスムーズに移行することができた。



目で見て理解できるマニュアルがオペレーターを支援

Trueflowのオペレーションを担当した後、EQUIOSの立ち上げに参加し、マニュアル作りも行ったプリプレス課の田中香寿美氏に、EQUIOSの導入効果を詳しく伺った。

「Trueflowを使っていたときは、あらかじめサイズごとに台紙を作らなければなりませんでしたが、EQUIOSなら自動で簡単に多種多様な台割が作成できますので、作業がしやすくなりました」

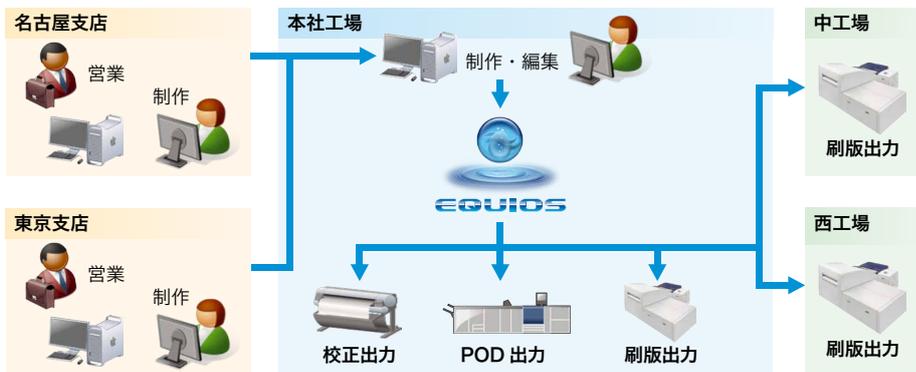
最初のうちは、Trueflowになかった機能を使うことに戸惑うメンバーもいた。

「TrueflowとEQUIOSを併用している限り、どうしても使い慣れているTrueflowを使いがちになります。ですから、部署ごとに今日からTrueflowは一切使わず、EQUIOSを使ってくださいと、半ば強制的にEQUIOSを使用するようにしました」と田中氏。

分からない機能があれば、その場でレクチャーして、メンバー全員に少しずつEQUIOSに慣れてもらうようにした。ミスを起こしやすい部分や疑問を持ちやすい工程では、視覚的に理解できるように説明書きを付けたマニュアルをその都度用意



ワークフロー



スマートジョブゲートによる自動化



した。このマニュアルは問題が発生するたびに更新。今では操作内容に応じて多種多様なマニュアルが作り上げられている。

オートギャング機能を使って版面設計を行うことについては、「全く新しい方法ですので、初めはハードルが高いかと思います。でもマニュアルには版面設計の知識を持たない人でも、オートギャング機能を活用して簡単に面付けできるようにしており、これによってオペレーターのスキルの標準化を図ることができました」（田中氏）

人員配置の適正化にも効果が出始める

木村氏はスマートジョブゲート機能も高く評価する。「ページ数やサイズが決まっているものなら、オペレーターがスマートジョブゲートを利用して版出力ができるようになりました。今までなら人の手を加えないといけなかったものが、当たり前でできしてしまう。すごく便利な機能です」と話す。

EQUIOS導入の重要目的であった「生産効率の向上に伴う人員配置の適正化」について、伊東本部長は「人員の数自体は減っていませんが、作業効率の向上が図れた結果、残業時間や休日出勤を大幅に削減することができました。それに加え

て、作業の役割分担が少しずつ変わりつつあります。従来はDTPのオペレーターが版面設計することは一切なかったのですが、EQUIOSを導入してからは、CTPの出力版数の15%程度はDTPオペレーターが設計をしています。設計が比較的簡単なオフ輪の仕事や定期物、ギャングを使ったPODなどに絞り込んでいますが、DTPオペレーターがページ設計に加えてそれまでCTPオペレーターが行っていた刷版設計ができるようになったのは大きな成果です」。

EQUIOSの連携機能や自動化機能の活用により、サンメッセはプリプレスのさらなる自動化、刷版設計の簡略化を推し進めていく。



サンメッセ株式会社

住所 岐阜県大垣市久瀬川町7-5-1
 代表者 代表取締役社長 田中 義一
 設立 1935年
 社員数 737人 (2015年3月期)
<http://www.sunmesse.co.jp/>

SCREEN

株式会社メディアテクノロジー ジャパン

〒135-0044 東京都江東区越中島1-1-1 ヤマトネ深川1号館
<http://www.mtjn.co.jp/>

東京支店 / 03(5621)8266(代) 大阪支店 / 06(6531)0333(代) 名古屋支店 / 052(218)6400(代)
 福岡支店 / 092(436)7081(代) 北海道営業所 / 011(726)0707(代) 東北営業所 / 022(224)1741(代)
 新潟営業所 / 025(241)0112(代) 静岡営業所 / 054(281)0955(代) 長野営業所 / 026(224)5770(代)
 金沢営業所 / 076(292)2345(代) 京都営業所 / 075(326)1350(代) 中国営業所 / 082(264)6451(代)
 四国営業所 / 087(837)8151(代)

株式会社 SCREEN グラフィックアンドプレジジョンソリューションズ

本社 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1番地の1
<http://www.screen.co.jp/gp>

※本カタログは、弊社の千都フォントを使用しています。
 ※本カタログの各商品名は各社の商標・登録商標です。
 ※本カタログの仕様ならびに商品デザインは改良のため予告なしに変更されることがあります。
 ※本カタログに掲載している商品は、日本国内仕様です。